



癒しの温泉 さらさの湯

今年5月、惜しまれながら17年の営業を終えた温泉施設「桐生温泉 湯らら」。閉館から約半年、再開を望む多くの声を受け、「癒しの温泉 さらさの湯」として11月23日にグランドオープンを迎えた。新施設は廃油のリサイクルをはじめ環境関連事業を展開する、株式会社群桐ホールディングス（HD・山口茂代表取締役・太田市大原町）が事業継承し、グループ会社である株式会社群桐さらさ（山口博代表取締役）が運営する。

豊富な種類の風呂やサウナを備える「さらさの湯」では、大浴場と露天風呂は源泉を100%使用している。泉質は無色透明の単純温泉でPH値はほぼ中性の7.5。肌にやさしい低刺激で、一般的に適温とされる約40℃のお湯は身も心もリラックスさせる。そのほか、国内最大級の高濃度水素風呂や電気風呂、薬湯、高温・低温サウナなどバラエティ豊かな施設で、来館する人々を癒してくれる。

基本的な施設は「湯らら」のものを引き継ぐが、タイルや壁などは張り替えられ17年の年季は全く感じない。さらに館内で提供される食事は、都内の一流ホテルなどで腕を振ったシェフを招き入れ、厳選された素材によるこだわりのメニューに刷新された。誰もがリーズナブルに楽しめるものから日帰り温泉では味わえないような高級メニューまで幅広く用意し、食事だけの来館も歓迎している。また、来春には追加料金なしで自由に使えるジムエリアもオープン予定で、「こだわりの食事」や「ジム+温泉」など新しい利用方法も提案する。

エントランスではネーミングの由来であり桐生川で採取された巨大な「紅さらさ石」が迎える。織物の「更紗」から名付けられ、赤を基調に白い脈線が美しく「織物のまち・桐生」を象徴する銘石である。1984年、当時の薮塚本町で創業した群桐グループは、社名の通り桐生への想いも強い。今回、新事業として桐生で癒し処の復活にチャレンジした同社。馴染みある天然温泉に新しい魅力を加え、桐生地域の人々に良質な“癒し”を提供する。



- 場所／桐生市広沢町6-320-1
- 電話／0277-55-2601
- 営業時間／10:00~23:00
- 定休日／水曜日
- 料金／大人：平日780円・土日祝880円
- 小学生：280円 未就学児：無料
- 回数券：7,800円（11回利用可）
- ※土日祝日は100円プラス 有効期限1年間

桐生の癒し処が復活
新たな魅力たずさえ開湯